

令和4年度「ふれあいファミリアミーティング」回答表【上熊坂区】

No.	意見・要望	担当課	回答
1	住民からの防犯灯やカーブミラーの設置要望を町に要請するわけですが、予算的な理由で持ち越されるケースがあります。安心・安全の確保のために予算を増やし、住民から喜ばれるスピーディ感をお願いしたい。	住民課	防犯灯やカーブミラーについては、毎年、各行政区からの要望や現地確認などにより設置候補個所を取りまとめ、その中から優先度を考慮して計画的に設置しております。
2	上熊坂児童館前の路地の奥に住宅がありますが、最近、空き巣被害がありました。児童館は夜間誰もおりませんし、空き巣被害が増加しておりますので、住宅の入口にあたる児童館の近くに防犯カメラの設置を検討願いたい。	住民課	防犯カメラについては、厚木警察署との協議の上、交通量の多い箇所や不審者の目撃状況が多い箇所に設置しています。各行政区からも設置要望がありますので、状況を踏まえながら、設置について検討させていただきます。今後も引き続き、行政区や警察などの関係団体と連携し、犯罪防止に向けた取り組みを進めてまいるとともに、町民の皆さんへ防犯対策について広報を行うなど、町内全体で防犯対策に努めてまいりたいと考えております。
3	自治会加入率の低下は喫緊の大きな問題であるが、自治会側でも有効な手立てが見つからない。町議会でもこの問題が取り上げられていますが、特効薬なしの状態。 町の広報紙でも片隅に小さく入会を呼びかけてありますが、非会員に声が届いていない。入会を促すビラを全戸配布し、町の本気度を非会員に届けてはいかがですか。70万円ほど費用が掛かるようですが、町内で200戸でも会員が増えれば、自治会全体で見れば費用対効果があります。	行政推進課	町では広報紙などを通じたPRのほか、転入者に対して町長メッセージをはじめ、区長さんの連絡先などを記載した案内チラシをお渡しするなど、あらゆる機会を通じて自治会への加入を呼びかけているところでありますので、引き続き、区長会と協力し方策を模索しながら、自治会加入促進に粘り強く努めてまいりたいと考えております。

No.	意見・要望	担当課	回答
4	<p>通学路にある、白線が薄れた横断歩道への改善対応が遅い。原因は県・警察の予算対応にあるようですが、町・学校が主体となって毎年チェックし、計画的に要望書を提出するようお願いしたい。事故が起きてからでは遅い。</p>	<p>住民課 教育総務課</p>	<p>教育委員会では町の関係各課をはじめ、学校長や厚木警察署等の関係機関を構成員とする「通学路安全対策協議会」により、学校から挙げられた通学路内の危険箇所について、毎年合同点検を行い、箇所に応じた対策を行っております。横断歩道や停止線等の規制線の維持管理については、県公安委員会が行っていますので、合同点検にて薄くなった横断歩道を確認した際には、厚木警察署へ補修の要望書を提出しております。</p>
5	<p>放置された土地や墓地に残された大きな木、繁茂した草木の苦情に対して、地権者を町に問い合わせても「法務局に行って確認して」との回答となる。地権者が分かったとしても町外に出られたケースが多く、探し出すのに一苦労。このような苦情対応は、住民が町に代わってやっているようにも思えるため、地権者だけでも町から教えていただけるようにならないのか。</p>	<p>環境課 税務課</p>	<p>「愛川町みんなで守る環境美化のまち条例」に基づき、生活環境の保全上必要な、清潔の保持がなされていない土地がある場合は、法務局の登記簿情報により土地所有者等に対し町から通知し、適正管理を行っていただくよう依頼をするなどの対応をしておりますので、個別事案については環境課へご連絡をいただきますようお願いします。</p> <p>なお、町でも税務情報として土地や建物の所有者の情報を保有しておりますが、これは個人情報に該当しますので、町から第三者に提供することはできません。</p>